

副学長が▽専門知識を持つ外部人材活用のため学校ニーズの掘り起こし▽スポーツ人材バンクの充実▽留学生を迎える静岡型ホストファミリー制度の構築を提案した。

委員は提案をおおむね前向きに受け止め、外部人材活用を巡っては「本県など全国にある産業雇用安定センターの登録人材を工業教育に活用できないか」「学校のニーズを吸い上げ、適任者をアレンジすることが大仕事」といった指摘が出た。

留学生受け入れについては、留学生受け入れに伴う日本人学生への効果を強調した上で「受け入れの負担を掛けずに交流できるシステムを整える必要がある」との意見があった。

学校のニーズ把握を

外部人材活用へ意見交換

県立 実践 人づくり 委員会 実

県総合教育会議に多様な意見を反映させるためとして川勝平太知事が設置する諮問会議「地域自立のための『人づくり・学校づくり』実践委員会」

（委員長・矢野弘典）のくづくりに支援センター理事長）は15日、県庁で「社会総掛かりで取り組む教育の実現」をテーマに意見交換した。専門知識を持つ外部人材の活用に向け、学校のニーズを的確に把握する必要があるとの認識を共有した。

副委員長を務める池上重弘静岡文化芸術大